

運営委員会及び総会報告運営委員会

日時： 1989年5月16日（火）18:00-19:00
場所： 東京大学理学部物理学教室
出席者： 高原文郎、池内 了、藤本光昭、佐藤勝彦、
観山正見、柴橋博資、郷田直輝（事務局長）

総会

日時： 1989年5月17日（水） 12:00-13:00
場所： 東京大学理学部化学講義室（天文学会B会場）

議題1 本年度の理論懇シンポジウムについて

- 1: 江里口さん（世話人）から国立天文台に「宇宙の形成から太陽系の誕生」という題名の研究会としてシンポジウムを申請しておいたとの報告があった。
- 2: 開催時期は運営委員会での議論により、1989年12月25日～12月27日が候補日となった。
 - 開催時期に関しては、他の研究会や大学行事に重なったり、他の研究会と集中的に行なわれないような時期にして欲しいとの意見があった。
- 3: 内容に関しては世話人会（観山、江里口、花輪）の方々から、例えば9つのセッションに分け、1つのセッションで各々1時間程度のレビューを行なう、そしてshort contributionは15分ぐらいのものをしてはどうかという案が出された。そして、9つの分野は具体的にはどういうものにするかまだ決めてはいないが、2～3年やると全分野をカバーするのではないか、ということであった。

それに対して次のような意見が出された。

 - レビュー以外のcontributionは工夫する必要がある。
 - short contributionをなくし、議論の時間とする。どの様にするかはそのセッションの座長にまかせる。
 - お金や場所の問題はあるだろうが、是非ポスターセッションをしてもらいたい。
 - 理論懇シンポジウムの目的はそもそも何なのか？いろいろな分野をやる必要があるのか？

○シンポジウムは理論天文学全体を推し進めることを目的とする
為、いろいろな分野の現状を見る必要がある。

4：開催場所は天文台とする。

○天文台で行なう理由は？

○その理由は、天文台がお金を出していること、及び天文
台の理論以外の分野の人々へのアピールの為である。

以上、多数の意見が出されたが、それらの意見を参考にしてもらって、世話人の方々に更に具体的な案を考えてもらうことにした。

議題II 計算機について

1：国立天文台の共同利用については、今のところ順調にスタートしている。

2：天文台へのスーパーコンピューター導入について

○概算要求を出す前に今年の秋には国際市場調査を行なって、官報に載せる必要がある。そして、パンフレット等を作って、関係各方面に配布する必要がある。このパンフレット作りは天文台の観山さんと梅村さん、および計算機WGが中心となっていて行なっている。

○観山さんからの報告：スーパーコンピューターが入ると何が分かるか、ということに関して20人ほどの人にレポートを書いてもらって、レポート集を作成した。これを小冊子に編集して、各方面に配布する。また、ワークショップも開く予定である。パンフレットはカラー刷りにするので、カラーでのシミュレーションの結果を持っている方は観山（国立天文台）宛に送って欲しい。

また、杉本さん（東大教養）、近田さん（国立天文台野辺山）が中心となって、重力多体専用マシンの開発が行なわれているとの報告があった。

上記のことに対して次のような意見が出された。

○スーパーコンピューターが導入された場合に、年間8000時間のCPUやディスクを円滑に使う必要がある。そのためには準備が必要であり、野辺山のスーパーコンピューター等を使用したりして、スムーズに共同利用体制に入れるように準備しておく必要がある。

議題III 天文台共同利用に関して（池内さんからの報告）

○研究会、ワークショップの申し込みで理論関係では競争率は3倍、共同研究に関しては2倍であった。

- 共同研究などの公募書類がこない場合は、共同利用係に請求して欲しい。
- 計算機の共同利用に関して意見や要望などがある場合はどんどんセンター長宛に出してもらいたい。

☆総会以降の関連ニュース

- 研究会、ワークショップ、共同研究とも実際には約7倍という厳しいものであった。
- スーパーコンピュータ導入を目指すということが、5月24日の理・共専門委員会で決定された。(市場調査などに向け動き出すことの必要な最初のステップである)

国立天文台共同利用計算機へのご意見のお願い

国立天文台の梅村さんより、別紙のような天文台計算機意見調査についてのお願いが寄せられています。天文台計算機に関してご意見やご質問がある方はお出し下さい。

年会費納入のお願い

前回のサーキュラーで年会費の納入のお願いを致しましたが、まだ会員の半分近くの方が納入されていません。まだ納められていない方は会の円滑な運営のために速やかに年会費(2000円)を下記の口座に振り込んで下さい。お願い致します。

郵便振替口座： 東京2-254464
理論天文学懇談会事務局

会員の異動

新会員

二間瀬俊史
〒036 弘前市文京町3
弘前大学理学部物理
Tel:0172.86.2111. x4172
Fax:
Email:

所属・住所変更

前田恵一
〒169 東京都新宿区大久保3-4-1
早稲田大学理工学部物理学教室
Tel:03.203.4141 x73-3657
Fax:03.200.2567
Email:

理論懇会員各位

国立天文台共同利用計算機へのご意見のお願い

暮春の候、皆様におかれましては、益々御清祥の事とお慶び申し上げます。

国立天文台の計算機は、本年1月9日に共同利用が開始して以来、早5カ月が経過致しました。計算センターニュースでもご存じのことかと思いますが、三鷹の計算機（FACOM M780/10S）は、4月から5月にかけて、北大、東北大、名大、京大、学術情報センターとN-1ネットワークによる接続が完了し、天文台内に共同利用者の為の部屋も確保され、共同利用体制も着々と整ってまいりました。近く、宇宙研、阪大、九大とのN-1接続も実現する予定であります。現在、国立天文台計算機利用登録者数は、天文台内85名、天文台外95名となっており、N-1接続以来、台外利用者は着実に増えてきております。

先日の天文学会における理論懇総会でも呼掛けがありました様に、今後、より簡便かつ有意義な共同利用体制を確立して頂くためには、我々の要望の声を具体的な形にしていくことが必要です。そこで、この度、理論懇メンバーの方々の計算機共同利用に対する率直な御意見、御要望、御質問をお聞かせ頂き、センターに早期対応をして頂くよう計りたいと考えております。つきましては、天文台計算センター設置の質問用紙を同封致しますので、ご意見をお書きの上、下記宛にお送り頂ければ大変有難く存じます。是非、皆様の御協力をお願い致します。

以上、何卒宜しくお願い申し上げます。

梅村 雅之

1989年5月22日

送り先

〒181 三鷹市大沢2-21-1

国立天文台

梅村 雅之

Tel 0422-32-5111 内352

Fax 0422-32-3906

質 問	回 答		
日付： / 氏名： 所属： 部 TEL： 質問区分： OS / 処理プロ / その他 資料： 無 / 有	受付日： / 回答日： / 受付者： 回答者： 期限： /	承 認	担 当
* 質問内容は具体的に			